



# 大里っ子チャレンジ通信

No.9 2017年07月22日(土)

さいたま市立浦和大里小学校チャレンジスクール実行委員会



**夏**

休みに入った直後の7月22日(土)、第9回チャレンジスクールを実施しました。1学期が終わって「ほっとひと息」、と思っていたのですが、参加児童の皆さんは、まったく普段通りに開始時刻にはブックラウンドに集まり、黙々と自主学習に取り組んでいました。さすがは浦和大里小学校の児童ですね。とても感心しました。きっと、夏休み中の家庭でも宿題や自由研究がはかどることと思います。みんな、頑張ってるね!!

## 「大きなシャボン玉」にチャレンジ!



**後**

半は、おなじみ「浅倉和弘」先生のご指導で、「大きなシャボン玉」にチャレンジしました。自主学習の後、まずは工作室に移動し、シャボン玉を飛ばすための道具づくりをしました。針金を輪っかにして大きな金魚すくいのポイのような形のものを作りましたが、周囲に毛糸を巻くところや、持ち手を作るところが難しかったようです。四苦八苦している児童の皆さんには、浅倉先生をはじめ、お手伝いの大人の皆さん、大学生ボランティアの坂本さん、そして今回初めて参加してくれた大学1年生の五十嵐さん、児島さんが手助けしてくださって、全員が道具を作り終えました。



きれいな輪っかができたね。

写真左から坂本さん、児島さん、五十嵐さん



**完**

成した輪っかを持ってみんなで外に出ました。浅倉先生が先回りしてシャボン玉駅の準備をしてくださっていました。洗剤だけでなく、液体のせんたく糊なども混ぜていたので、粘り気のあるシャボン玉液で、左の写真のように大きなシャボン玉を作ることができました。シャボン玉が割れると、液が頭や体にかかってきましたが、そんなことにはおかまいなし!カンカン照りの中、児童の皆さんは夢中になってシャボン玉を飛ばしていました。暑さも大変なものでしたが、体調を崩す児童もなく、みんな元気いっぱい遊んで終了となりました。

浅倉先生が、いろいろな材料を混ぜ合わせてシャボン玉液を作っています。みんな興味深々に見つめています。



高くまで飛んだシャボン玉ですが、結構長い時間割れませんでした。

標題のイラストは、「サンパラソル」。反時計回りに伸びる「つる」が互いに強く絡み合いながら成長する姿から花言葉は「固い友情」。卒業してもずっとずっと信頼し合える大切な友だちができると良いですね。